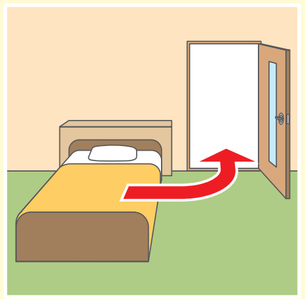
地震・津波災害への備え

地震･津波はいつ起こるか予測することが難しいため、日頃の備えがとても大切です。ご自宅でどのようなことに気をつけて対策すべきか、このページを見て確認し、実施しましょう。

また、屋内の対策に加えて建物自体の耐震化も重要になります。建物全壊などの被害を防ぐために、ご自宅の耐震性が十分かどうか確認しておきましょう。

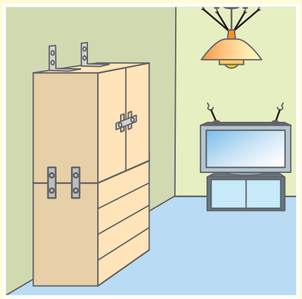
被害を防ぐための空間づくり

① 家具の配置に注意する



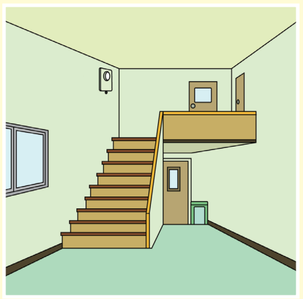
家の中に“逃げ場”のスペースをつくり、家具や荷物を置かないようにしましょう。

② 家具の転倒防止



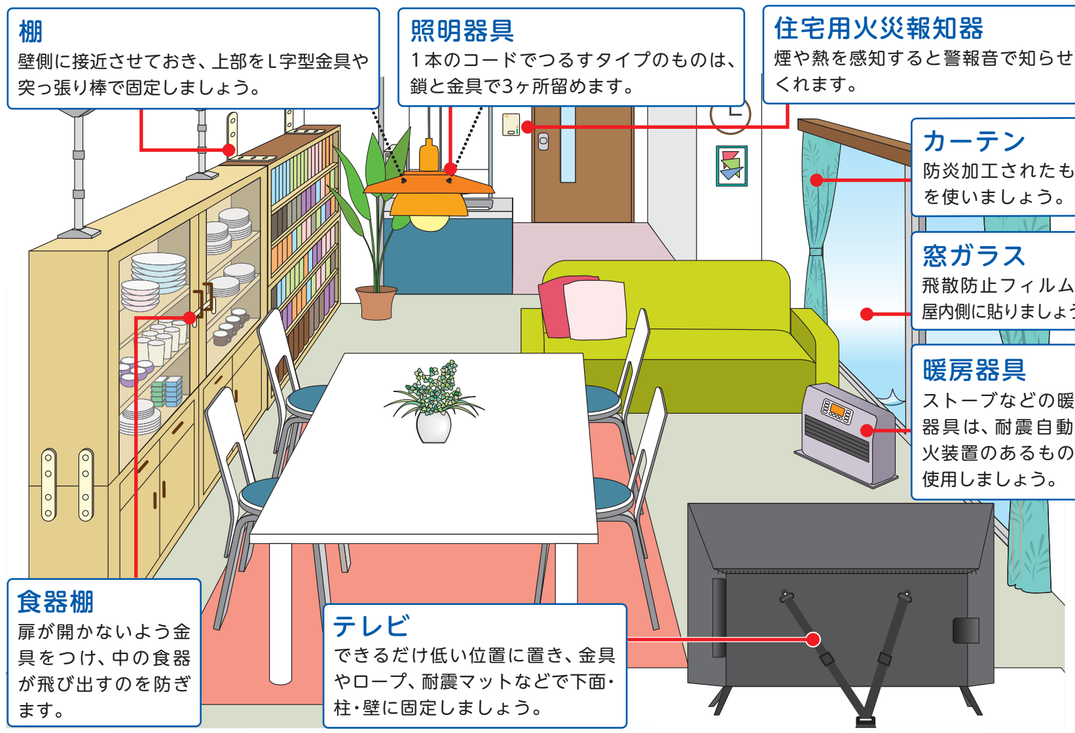
家具と壁・柱の間に遊びがあると倒れやすいため、支え棒で固定するなどの転倒防止対策をしましょう。

③ 出入り口に物を置かない



ドアなど出入口付近の家具や物が倒れると逃げ道がなくなってしまいます。出入口、通路に物を置かないようにしましょう。

家具の転倒・落下を防ぐポイント



家の外の安全対策

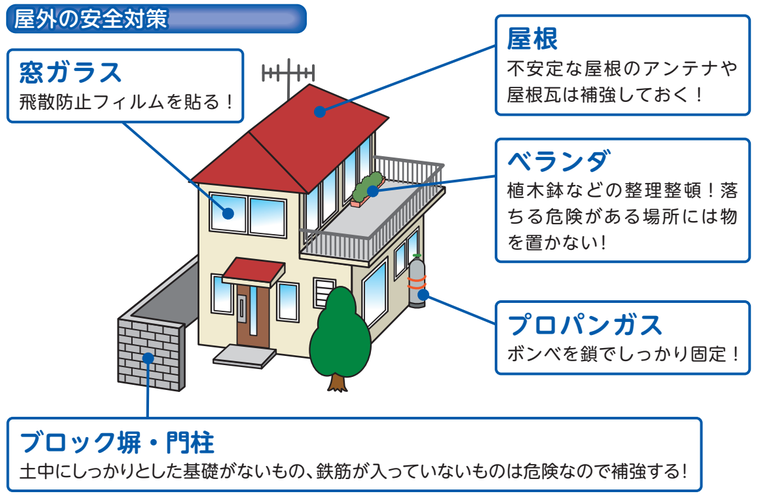
日頃から備えることで、地震に強い家を作ることができます。普段気づかない、戸外の様々なものに地震対策を行い、経年変化や風雪害により弱くなった部分を修復することが重要です。

早めに安全対策を行い、あなた自身と大切な人の命を守りましょう。

住宅の耐震化

昭和56年5月以前に着工された建物は、耐震診断や補強工事を行ってください！

屋外の安全対策



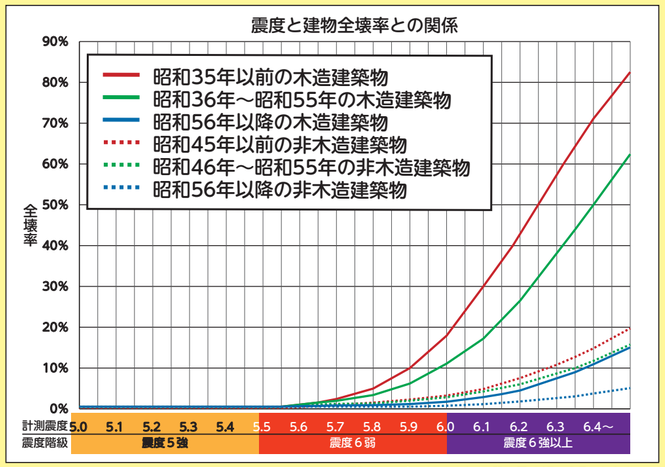
自宅の建築年を調べてみましょう

地震の揺れによる建物被害は、揺れの強さだけでなく建物の構造、建築年次によって大きく異なります。あなたの家が安全かどうか確認しておきましょう。

家屋の倒壊危険性について

右の表は、阪神･淡路大震災における家屋の倒壊危険性を整理したものです。

木造の家屋（表中実線）は、非木造の家屋に比べて、全壊率が高く、多くの被害がみられたことが分かります。特に、新耐震基準が導入された昭和56年以前の家屋（表中赤色と緑色）は、より多くの被害を受けています。



地震防災マップ作成のすすめ（内閣府 平成17年3月）を参考に作成

重要 わが家の耐震診断をしよう

わが家が地震に耐えられるのかを知るために、「耐震診断」をしましょう。
倒壊のおそれがあるという結果が出た場合や不安がある時は、専門家に相談して必要な補強をしましょう。

久慈市では、木造住宅の耐震診断ならびに耐震改修工事に対する補助を行っています。
詳しくは、久慈市建設企画課までお問い合わせください。

「洪水･土砂災害への備え」(p.6)も参考にして、避難場所の確認や備蓄品の準備なども行いましょう。